

# IV. その他の入試

## 1. アドミッション・オフィス入試

### (1) AO入試I (共創学部)

実施学部	共創学部
募集人員	20人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、共創学部の趣旨を理解した上で、本学部での学びを強く志望し、合格した場合に必ず入学することを確約する者。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当する者及び令和2年3月までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 共創学部AO入試に出願した場合でも、本学部の推薦入試、一般入試、国際型入試に出願することができます。ただし、別途出願手続きを行ってください。</p> <p>(2) 九州大学の他学部で実施されるAO入試(文学部、教育学部、法学部、理学部各学科、医学部保健学科、歯学部、芸術工学部、農学部)との併願はできません。</p> <p>(3) 本学部AO入試に出願した場合でも、本学を含む国公立大学の一般入試に出願することができます。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び活動歴報告書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>なお、該当者は、活動歴報告書の添付資料の一つとして、英語能力試験(実用英語技能検定試験(英検)、TOEFL iBT、IELTS(アカデミック・モジュール)、GTEC、TEAP(4技能)等)の成績を提出することができます。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、講義に関するレポート、討論、小論文及び面接を課し、提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。</p> <p>なお、レポート及び小論文において、一部英語による記述を求める場合があります。</p> <p>【選抜の流れ】</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び活動歴報告書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、講義に関するレポート、討論、小論文及び面接を2日間にわたって課し、提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。</p> <p>〈第1日目〉受験者は、2つの講義(文系の内容を主とするものと理系の内容を主とするもの)を受講し、その講義に関するレポートをそれぞれ作成します。</p> <p>〈第2日目〉午前：前日に受講した2つの講義の論題について討論を行います。 討論は、グループ(1グループ12～14人)に分け、グループで論題ごとに討論を行います。</p> <p>午後：小論文は、講義・レポートと討論を踏まえて、提示されたいずれかの講義の論題に関連した標題を自ら設定し、作成します。 面接(個人面接)は、小論文を作成している間に行います。</p>
出願期間	令和元年9月17日(火)～9月20日(金)
選抜期日	令和元年10月上旬～中旬 第1次選抜 令和元年11月2日(土)、3日(日) 第2次選抜
合格発表日	令和元年11月22日(金)

## (2) AO入試I (教育学部)

実施学部	教育学部
募集人員	7人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学教育学部を第1志望とする者としてします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</li><li>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</li><li>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</li></ul>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 第1次選抜 小論文試験及び提出された調査書又は調査書に代わる書類の総合評価により選抜を行います。</li><li>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、指定課題についてのプレゼンテーションを課し、それに基づく面接試験を行います。 なお、指定課題は試験当日に提示します。</li></ul>
出願期間	令和元年9月17日(火)～9月20日(金)
選抜期日	令和元年10月19日(土) 第1次選抜 令和元年11月30日(土) 第2次選抜
合格発表日	令和元年12月23日(月)

## (3) AO入試II (文学部)

実施学部	文学部
募集人員	10人
出願要件	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、本学文学部が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、本学文学部を第1志望とする者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、英語小論文、英語による個人面接及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により行います。 (英語による個人面接は、第1次選抜合格者数により、集団面接を行う場合があります。)</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民〔世B, 日B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」から2〕</p> <p>数 [(数I・数A) と (数II・数B・簿・情報から1)] (注1)</p> <p>理 (物基, 化基, 生基, 地学基から2) (注2)</p> <p>外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1)</p> <p>(注1) 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。</p> <p>(注2) 理科において、「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目選択した場合は、基礎を付した科目から2科目選択したものとみなします。</p>
出願期間	令和元年11月11日(月)～11月15日(金)
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日(土) 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日(水)

#### (4) AO入試Ⅱ（法学部）

実施学部	法学部
募集人員	10人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で本学法学部が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、本学法学部を第1志望とする者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成30年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び英語能力試験の成績（注）の総合評価により選抜を行います。</p> <p>（注） 英語能力試験は、下記のいずれかに限ります。 TOEFL iBT GTEC（3技能） GTEC（4技能） TOEIC 実用英語技能検定試験（英検） IELTS なお、入学後の教育プログラムの学修に必要な英語力としては、TOEFL iBT 61、GTEC(3技能)680、GTEC(4技能)1110が目安となります。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、英語学力試験、個人面接及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目 国（国） 地歴及び公民〔世B、日B、地理B、（倫理、政治・経済）から2〕 数〔（数Ⅰ・数A）と（数Ⅱ・数B、簿、情報から1）〕（注1） 理（物基、化基、生基、地学基から2）（注2） 外（英、独、仏、中、韓から1）</p> <p>（注1）「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</p> <p>（注2）理科において、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択した場合は、基礎を付した科目から2科目選択したものとみなします。</p>
出願期間	令和元年11月11日（月）～11月15日（金）
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日（水）

## (5) AO入試Ⅱ（理学部物理学科）

実施学部・学科名	理学部 物理学科
募集人員	7人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学理学部物理学科が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、理学部物理学科の勉学に意欲のある者で、本学理学部物理学科を第1志望とする者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接（試問を含む。）及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民〔世B, 日B, 地理B, (倫理, 政治・経済) から1〕(注)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B)]</p> <p>理 [(物) と (化, 生, 地学から1)]</p> <p>外 (英)</p> <p>(注) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p>
出願期間	令和元年11月11日(月)～11月15日(金)
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日(土) 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日(水)

## (6) AO入試Ⅱ（理学部化学科）

実施学部・学科名	理学部 化学科
募集人員	8人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学理学部化学科が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、理学部化学科の勉学に意欲のある者で、本学理学部化学科を第1志望とする者とします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む。）及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民〔世B, 日B, 地理B, (倫理, 政治・経済) から1〕(注1)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)] (注2)</p> <p>理 [(化) と (物, 生から1)]</p> <p>外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</p>
出願期間	令和元年11月11日（月）～11月15日（金）
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日（水）

## (7) AO入試II (理学部地球惑星科学科)

実施学部・学科名	理学部 地球惑星科学科
募集人員	7人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学理学部地球惑星科学科が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、理学部地球惑星科学科の勉学に意欲のある者で、本学理学部地球惑星科学科を第1志望とする者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む。）、小論文及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民〔世B, 日B, 地理B, (倫理, 政治・経済) から1〕(注1)</p> <p>数 [(数I・数A) と (数II・数B, 簿, 情報から1)] (注2)</p> <p>理 (物, 化, 生, 地学から2)</p> <p>外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</p>
出願期間	令和元年11月11日（月）～11月15日（金）
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日（水）

## (8) AO入試Ⅱ（理学部数学科）

実施学部・学科名	理学部 数学科
募集人員	7人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学理学部数学科が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、理学部数学科の勉学に意欲のある者で、本学理学部数学科を第1志望とする者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接試問及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民 [(世B, 日B, 地理B, (倫理, 政治・経済) から1)] (注)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B)]</p> <p>理 [(物) と (化, 生から1)]</p> <p>外 (英)</p> <p>(注) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p>
出願期間	令和元年11月11日(月)～11月15日(金)
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日(土) 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日(水)

## (9) AO入試Ⅱ（理学部生物学科）

実施学部・学科名	理学部 生物学科
募集人員	5人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学理学部生物学科が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、理学部生物学科の勉学に意欲のある者で、本学理学部生物学科を第1志望とする者として。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書、面接及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目          数 [(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)] (注)          理 (物, 化, 生, 地学から2)          外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1)          (注)「簿記・会計」,「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。</p>
出願期間	令和元年11月11日(月)～11月15日(金)
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日(土) 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日(水)

## (10) AO入試Ⅱ (医学部保健学科)

実施学部・学科名	医学部 保健学科
募集人員	看護学専攻 9人 放射線技術科学専攻 6人 検査技術科学専攻 6人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学医学部保健学科が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、本学医学部保健学科を第1志望とする者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、小論文、面接及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民 [世B, 日B, 地理B, (倫理, 政治・経済) から1] (注1)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)] (注2)</p> <p>理 { (看護: 物, 化, 生, 地学から1) (注3) (放射線: 物, 化, 生, 地学から2) (検査: 物, 化, 生, 地学から2)</p> <p>外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。</p> <p>(注3) 理科の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を理科の得点として採用します。</p>
出願期間	令和元年11月11日(月)～11月15日(金)
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日(土) 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日(水)

## (11) AO入試Ⅱ（歯学部）

実施学部	歯学部
募集人員	8人
出願要件	<p>次の各項のすべてに該当する者とします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 本学歯学部が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験する者</p> <p>(3) 歯科医療や歯科医学の発展に貢献したいという強い意志と適性をもち、本学歯学部を第1志望とする者</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、小論文（英文を含む場合もある。）、面接及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民〔世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, (倫理, 政治・経済) から1〕(注1)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)] (注2)</p> <p>理 (物, 化, 生から2)</p> <p>外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p>
出願期間	令和元年11月11日(月)～11月15日(金)
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日(土) 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日(水)

## (12) AO入試Ⅱ（芸術工学部芸術工学科環境設計コース）

実施学部・学科名	芸術工学部 芸術工学科 環境設計コース
募集人員	7人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学芸術工学部芸術工学科環境設計コースが指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、芸術工学部芸術工学科環境設計コースの勉学に意欲のある者で本学芸術工学部芸術工学科環境設計コースを第1志望とする者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、実技及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民 [世B, 日B, 地理B, (倫理, 政治・経済) から1] (注1)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)] (注2)</p> <p>理 (物, 化, 生, 地学から2)</p> <p>外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</p>
出願期間	令和元年11月11日（月）～11月15日（金）
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日（水）

※芸術工学部については、文部科学省へ組織改編の申請中であり、内容は今後変更する場合があります。

### (13) AO入試Ⅱ（芸術工学部芸術工学科インダストリアルデザインコース）

実施学部・学科名	芸術工学部 芸術工学科 インダストリアルデザインコース
募集人員	16人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学芸術工学部芸術工学科インダストリアルデザインコースが指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、芸術工学部芸術工学科インダストリアルデザインコースの勉学に意欲のある者で本学芸術工学部芸術工学科インダストリアルデザインコースを第1志望とする者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、実技及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民〔世B、日B、地理B、(倫理、政治・経済)から1〕(注1)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)](注2)</p> <p>理 (物、化、生、地学から2)</p> <p>外 (英、独、仏、中、韓から1)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。</p>
出願期間	令和元年11月11日(月)～11月15日(金)
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日(土) 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日(水)

※芸術工学部については、文部科学省へ組織改編の申請中であり、内容は今後変更する場合があります。

## (14) AO入試Ⅱ（芸術工学部芸術工学科未来構想デザインコース）

実施学部・学科名	芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース
募集人員	8人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学芸術工学部芸術工学科未来構想デザインコースが指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、芸術工学部芸術工学科未来構想デザインコースの勉学に意欲のある者で本学芸術工学部芸術工学科未来構想デザインコースを第1志望とする者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、実技（プレゼンテーション、討論、レポートを含む）及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民〔世B、日B、地理B、(倫理、政治・経済)から1〕(注1)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)](注2)</p> <p>理 (物、化、生、地学から2)</p> <p>外 (英、独、仏、中、韓から1)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</p>
出願期間	令和元年11月11日（月）～11月15日（金）
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日（水）

※芸術工学部については、文部科学省へ組織改編の申請中であり、内容は今後変更する場合があります。

## (15) AO入試Ⅱ（芸術工学部芸術工学科メディアデザインコース）

実施学部・学科名	芸術工学部 芸術工学科 メディアデザインコース
募集人員	20人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学芸術工学部芸術工学科メディアデザインコースが指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、芸術工学部芸術工学科メディアデザインコースの勉学に意欲のある者で本学芸術工学部芸術工学科メディアデザインコースを第1志望とする者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、実技及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民〔世B、日B、地理B、(倫理、政治・経済)から1〕(注1)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)](注2)</p> <p>理 (物、化、生、地学から2)</p> <p>外 (英、独、仏、中、韓から1)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。</p>
出願期間	令和元年11月11日(月)～11月15日(金)
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日(土) 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日(水)

※芸術工学部については、文部科学省へ組織改編の申請中であり、内容は今後変更する場合があります。

## (16) AO入試Ⅱ（芸術工学部芸術工学科音響設計コース）

実施学部・学科名	芸術工学部 芸術工学科 音響設計コース
募集人員	5人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学芸術工学部芸術工学科音響設計コースが指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、芸術工学部芸術工学科音響設計コースの勉学に意欲のある者で本学芸術工学部芸術工学科音響設計コースを第1志望とする者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、小論文、実技を含む面接及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民 [世B, 日B, 地理B, (倫理, 政治・経済) から1] (注1)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)] (注2)</p> <p>理 (物, 化, 生, 地学から2)</p> <p>外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</p>
出願期間	令和元年11月11日（月）～11月15日（金）
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日（水）

※芸術工学部については、文部科学省へ組織改編の申請中であり、内容は今後変更する場合があります。

## (17) AO入試Ⅱ（農学部）

実施学部	農学部
募集人員	20人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、本学農学部が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、本学農学部を第1志望とする者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、平成30年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p>
選抜方法等	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、小論文、面接及び令和2年度大学入試センター試験の成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>※ 大学入試センター試験の教科・科目</p> <p>国 (国)</p> <p>地歴及び公民 [世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, (倫理, 政治・経済) から1] (注1)</p> <p>数 [(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)] (注2)</p> <p>理 (物, 化, 生, 地学から2)</p> <p>外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1)</p> <p>(注1) 地歴及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地歴及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</p>
出願期間	令和元年11月11日（月）～11月15日（金）
選抜期日	令和元年11月下旬～12月中旬 第1次選抜 令和2年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日（水）

## 2. 推薦入試

実施学部	共創学部
募集人員	10人
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。ただし、高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成31年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>○推薦要件</p> <p>(1) 共創学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、人物及び学業に優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者</p> <p>(2) 共創学部が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目を受験する者</p> <p>(3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目は、国語、数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、外国語（英語（リスニングを含む。））です。</p> <p>(2) 出願書類は、高等学校等の長の責任のもと、提出してください。</p> <p>(3) 共創学部推薦入試に出願する場合でも、本学部のAO入試、一般入試、国際型入試に出願することができます。ただし、別途出願手続きを行ってください。</p> <p>(4) 九州大学の他学部で実施されるAO入試（文学部、教育学部、法学部、理学部各学科、医学部保健学科、歯学部、芸術工学部、農学部）との併願はできません。</p> <p>(5) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。</p> <p>(6) 本学部の推薦入試に不合格となった場合に備えて、別途、国公立大学・学部の一般入試に出願することができます。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を課し、第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び活動歴報告書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーションと面接を課し、大学入試センター試験の成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。</p> <p>なお、指定した英語能力試験（注）の成績（原本とする。写し不可）を提出した者については、所定の基準にしたがって、大学入試センター試験の英語の点数に換算し、大学入試センター試験の英語の得点と英語能力試験の換算値を比較して、高い方の得点を査定の対象とします。（大学入試センター試験「英語」の受験は必須）</p> <p>(注意) 英語能力試験は、下記のいずれかに限ります。</p> <p>実用英語技能検定試験（英検）、TOEFL iBT、IELTS （アカデミック・モジュール）、GTEC、TEAP（4技能）</p> <p><b>【選抜の流れ】</b></p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び活動歴報告書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーションと面接を課し、大学入試センター試験の成績及び提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。プレゼンテーションに用いる資料は、「募集要項」で指定したものに限ります。</p>
出願期間	令和元年11月25日（月）～11月29日（金）
選抜期日	令和元年12月上旬～中旬 第1次選抜 令和2年2月1日（土） 第2次選抜
合格発表日	令和2年2月12日（水）

### 3. 帰国子女入試

実施学部	全学部（教育学部及び農学部を除く）
募集人員	各学部（学科）とも若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、保護者とともに海外に在住（原則1年以上）した者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者としてします。</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成30年4月1日から令和2年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者のうち、最終の学年を含めて2年以上継続して外国における学校教育を受けているもの  （注）外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けたものとはみなしません。  また、インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、出願が認められない場合があるので、早めに照会してください。</p> <p>(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成30年以降に外国において取得した者</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格又は英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を平成30年以降に外国において取得した者  （注）GCE-Aレベルの必要な科目数・評価については、九州大学学務部入試課（TEL 092-802-2005）まで問い合わせてください。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、学力検査、小論文、面接及び出願書類の内容により行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文及び面接により選抜を行う学部 文学部</li> <li>・学力検査、小論文及び面接により選抜を行う学部 経済学部、医学部、歯学部、薬学部</li> <li>・学力検査及び面接により選抜を行う学部 法学部、理学部、工学部、芸術工学部</li> <li>・学力検査、面接及び志望理由書（日本語）により選抜を行う学部 共創学部</li> </ul>
出願期間	令和元年11月5日（火）～11月11日（月）
選抜期日	<p>令和2年2月26日（水）・27日（木）（文）  令和2年2月25日（火）～27日（木）（法、経済、理、医、歯、薬、工、芸術工）  令和2年2月25日（火）・26日（水）（共創学部）</p>
合格発表日	令和2年3月8日（日）

## 4. 私費外国人留学生入試（4月入学）

実施学部・学科名	全学部（教育学部を除く）
募集人員	各学部（学科）とも若干名
出願要件	<p>次の(1)～(5)のすべてに該当する者とします。</p> <p>(1) 日本国以外の国籍を有する者</p> <p>(2) 日本国の永住許可を得ていない者</p> <p>(3) 次の①～⑥のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの</p> <p>② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>③ 外国において、ドイツ連邦共和国の各州の大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>④ 外国において、フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>⑤ 外国において、英国の大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を有する者</p> <p>(注) 必要な科目数・評価については、九州大学学務部入試課まで問い合わせてください。</p> <p>⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの 上記(3) ⑥により出願する者は、事前に個別の受験資格審査を受けなければなりません。受験資格に関する手続き等については、九州大学学務部入試課（TEL092-802-2005）へ問い合わせるか、九州大学Webサイト（<a href="https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/insufficient/">https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/insufficient/</a>）をご覧ください。</p> <p>(4) 独立行政法人日本学生支援機構が実施（海外実施を含む。）する平成30年度又は令和元年度の第1回又は第2回日本留学試験の各学部が指定する教科・科目を受験した者</p> <p>出題言語は、日本語、英語いずれを選んでもかまいません。</p> <p>なお、学部別の教科・科目の指定は、次の表（53ページ）のとおりです。</p> <p>(5) TOEFL, IELTS（アカデミック・モジュール）又はケンブリッジ英検（FCE, CAE又はCPE）のいずれかを出願前2年以内（平成30年1月以降）に受験した者</p>

出 願 要 件

学部・学科等		日本留学試験の教科・科目の指定						
		日本語	総 合 目 録	数学 (1科目)		理科 (2科目)		
				コース1	コース2	物理	化学	生物
共 創 学 部 (注1)		◎	◎	◎				
		◎			◎	○	○	○
文 学 部		◎	◎	◎				
法 学 部		◎	◎	◎				
経済学部	経 済・経 営 学 科	◎	◎	◎				
	経 済 工 学 科	◎			◎	○	○	○
理学部	物 理 学 科	◎			◎	◎	○	○
	物 理 学 科 以 外	◎			◎	○	○	○
医学部	医 学 科 (注2)		◎			◎	○	○
	生 命 科 学 科 (注2)		◎			◎	○	○
	保 健 科	看 護 学 専 攻	◎		○	○	○	○
		看 護 学 専 攻 以 外	◎			◎	○	○
歯 学 部		◎			◎	○	○	
薬 学 部 (注2)		◎			◎	○	◎	
工 学 部		◎			◎	◎	◎	
芸 術 工 学 部		◎			◎	◎	○	
農 学 部		◎			◎	○	○	

※ ◎は必須科目, ○は選択科目を意味します。

- (注1) 共創学部で指定する日本留学試験の教科・科目は、「日本語・総合科目・数学コース1」又は「日本語・数学コース2・理科 (2科目)」のいずれかです。  
 (注2) 医学部医学科, 生命科学科及び薬学部は, 日本留学試験における得点が次の出願基準点以上であること。出願基準点に達していない場合は, 出願無資格とします。

科 目			日 本 留 学 試 験					
			日 本 語		数 学	理 科 (2科目選択)		
			読解, 聴解・聴読解 (400)	記 述	コース2 (200)	物理 (100)	化学 (100)	生物 (100)
出 願 基 準 点	医 学 部	医 学 科	350点以上	出 願 基 準 点	合計360点以上			
		生 命 科 学 科			合計320点以上			
	薬 学 部				なし	合計320点以上		

( )は配点

選 抜 方 法 等	<p>(1) 入学者選抜方法  入学者の選抜は、TOEFL, IELTS (アカデミック・モジュール) 又はケンブリッジ英検 (FCE, CAE又はCPE) のいずれかの成績及び各学部が指定する平成30年度又は令和元年度の第1回又は第2回日本留学試験の教科・科目の成績並びに本学において実施する日本語試験 (理学部及び芸術工学部を除く。) の成績, 出願書類の内容, 面接及び志望理由書 (共創学部のみ) の評価により行います。</p> <p>(2) 本学において実施する学力試験等</p> <p>ア 日本語試験  本学において実施し, 次の学部の志望者に課します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本語試験 (読解, 記述, 聴解) を課す学部  共創学部, 文学部, 法学部, 経済学部, 医学部, 歯学部, 薬学部, 農学部,</li> <li>●日本語試験 (読解, 記述) を課す学部  工学部</li> </ul> <p>イ 面接  すべての学部 (学科) で実施します。  なお, 面接に際しては, 基礎的な学力について試験を行うことがあります。</p>
出 願 期 間	令和元年11月18日 (月) ~11月22日 (金)
選 抜 期 日	令和2年2月26日 (水) 日本語試験 (理学部及び芸術工学部を除く。) 令和2年2月27日 (木) 面接
合 格 発 表 日	令和2年3月3日 (火)
出 願 上 の 注 意	<p>(1) TOEFL, IELTS及びケンブリッジ英検については, 本学に出願の際に成績証明書・認定証の提出が必要です。提出がない場合は, 出願を受理しません。<b>成績証明書等の発行には, 相当な時間がかかるため, 早めに受験し, 成績証明書等を用意してください。</b></p> <p>(2) 出願の際に提出する書類のうち, 外国語 (英語を除く) で作成された卒業証明書及び成績証明書等には, 出身学校等の翻訳証明のある日本語訳を添付してください。</p>
そ の 他	<p>日本留学試験, TOEFL, IELTS及びケンブリッジ英検に関する問い合わせ先</p> <p>(1) 日本留学試験  独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課  〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL (03) 6407-7457  <a href="https://www.jasso.go.jp">https://www.jasso.go.jp</a></p> <p>(2) TOEFL  ETS (Educational Testing Service) TEL (0120) 981-925  <a href="https://www.ets.org/toefl">https://www.ets.org/toefl</a>  国際教育交換協議会 TOEFL事業部 <a href="https://www.cieej.or.jp">https://www.cieej.or.jp</a>  〒150-8355 東京都渋谷区神宮前5-53-67</p> <p>(3) IELTS  ブリティッシュ・カウンシル <a href="https://www.britishcouncil.jp/exam">https://www.britishcouncil.jp/exam</a>  〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-2 TEL (03) 3235-8031  公益財団法人 日本英語検定協会 <a href="https://www.eiken.or.jp/ielts/">https://www.eiken.or.jp/ielts/</a>  TEL (03) 3266-6852 (IELTS 東京テストセンター)  TEL (06) 6455-6286 (IELTS 大阪テストセンター)</p> <p>(4) ケンブリッジ英検  ケンブリッジ大学英語検定機構 <a href="https://www.cambridgeenglish.org/jp">https://www.cambridgeenglish.org/jp</a></p>

## 5. 私費外国人留学生入試（10月入学）

実施学部	共創学部
募集人員	若干名
出願要件	<p>次の(1)及び(2)に該当する者としてします。</p> <p>(1) 日本国以外の国籍を有する者</p> <p>(2) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年9月30日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者、又は令和2年9月30日までに有する見込みの者</p> <p>③ 外国において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、又は令和2年9月30日までに有する見込みの者</p> <p>④ 外国において、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者、又は令和2年9月30日までに有する見込みの者</p> <p>⑤ 外国において、英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を有する者、又は令和2年9月30日までに有する見込みの者</p> <p>⑥ 文部科学大臣の指定した日本国内のインターナショナルスクールを修了した者、又は令和2年9月30日までに修了する見込みの者</p> <p>⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年9月30日までに18歳に達するもの</p> <p>※上記(2) ⑦により出願する者は、事前に受験資格の審査を受けなければなりません。</p>
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、第一次試験及び第二次試験により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された志望理由書（英語）を含む出願書類の総合評価により選抜を行います。</p> <p>【1】 入学資格を証明する書類等（高校の成績証明書等、高校の卒業（見込み）証明書等、国際バカロレア等資格、九州大学受験資格認定書）</p> <p>【2】 志望理由書（英語）</p> <p>【3】 以下のうち、いずれか一つの統一試験成績表</p> <p>① 日本留学試験及び英語能力試験（注）</p> <p>② SAT / SAT Subject Tests</p> <p>③ GCE-A / ASレベル、もしくはIAL-A/ASレベル</p> <p>④ 国際バカロレア資格（英語で取得）</p> <p>⑤ 国際バカロレア資格（フランス語又はスペイン語で取得）及び英語能力試験（注）</p> <p>（注意）英語能力試験は、下記のいずれかに限ります。</p> <p>TOEFL, TOEIC, IELTS（アカデミック・モジュール）、ケンブリッジ英検（FCE, CAE またはCPE）</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次試験の合格者に対して、面接を課し、提出書類の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。</p> <p>また、面接に際しては、基礎的な学力について試験を行うことがあります。</p> <p>現地面接が困難な場合は、電話、遠隔会議装置などを利用して面接を実施します。</p>
出願期間	令和2年1月6日（月）～1月21日（火）
選抜期日	令和2年2月中旬 第1次選抜 令和2年2月下旬～3月上旬 第2次選抜
合格発表日	令和2年3月26日（木）

## 6. 国際入試〈教育学部〉

実施学部	教育学部
募集人員	3名
出願要件	<p>次の(1)~(3)のすべてに該当する者としてします。</p> <p>(1) 本学教育学部を第1志望とし、合格した場合、入学することを確約する者</p> <p>(2) TOEFL [iBTテスト]、TOEIC、IELTS [アカデミック・モジュール]、ケンブリッジ英検 [FCE、CAEまたはCPE]、GTEC、TEAP、TEAP CBT、または実用英語技能検定 [英検] のいずれかを出願前2年以内（平成29年9月以降）に受験した者</p> <p>(3) 次のア. 一般、イ. 帰国子女、ウ. 私費外国人留学生のいずれかの区分に該当する者</p> <p>ア. 一般 次の各項のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を平成26年4月以降に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150号の規定により高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められる者で、平成26年4月以降にこれに該当するもの及び令和2年3月までにこれに該当する見込みのもの</p> <p>イ. 帰国子女 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、保護者とともに海外に在住(原則1年以上)した者で、次の①~③のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を平成30年4月1日から令和2年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者のうち、最終の学年を含めて2年以上継続して外国における学校教育を受けているもの (注)外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けたものとはみなさない。また、インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、出願が認められない場合があるので、早めの照会を求める。</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成30年以降に外国において取得した者</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格又は英国において大学入学者資格として認められているGCE-Aレベル資格を平成30年以降に外国において取得した者</p> <p>ウ. 私費外国人留学生 日本国籍以外の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ていない者で、次の【1】及び【2】のすべてに該当する者</p> <p>【1】 次の①~⑥のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>③ 外国において、ドイツ連邦共和国の各州の大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>④ 外国において、フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>⑤ 外国において、英国の大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を有する者(注)必要な科目数・評価については、九州大学学務部入試課まで問い合わせること。</p> <p>⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの(事前に受験資格の審査を受ける必要がある)</p>

	<p><b>【2】</b> 独立行政法人日本学生支援機構が実施（海外実施を含む。）する平成30年度又は令和元年度の第1回又は第2回日本留学試験の各学部が指定する教科・科目を受験した者 出題言語は、日本語、英語のいずれを選んでかまいません。 なお、学部別の教科・科目の指定は、下表のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">学 部</th> <th colspan="4">日本留学試験の教科・科目の指定</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">日 本 語</th> <th rowspan="2">総 合 科 目</th> <th colspan="2">数 学（1科目）</th> </tr> <tr> <th>コース1</th> <th>コース2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育学部</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学 部	日本留学試験の教科・科目の指定				日 本 語	総 合 科 目	数 学（1科目）		コース1	コース2	教育学部	◎	◎	◎	
学 部	日本留学試験の教科・科目の指定																
	日 本 語		総 合 科 目	数 学（1科目）													
		コース1		コース2													
教育学部	◎	◎	◎														
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、第1次選抜及び第2次選抜により選抜を行います。</p> <p>(1) 第1次選抜は、提出された調査書又は調査書に代わる書類、成績証明書等の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜は、第1次選抜の合格者が課せられた課題についてプレゼンテーションを行い、その内容等に関する面接試験の総合評価により選抜を行います。プレゼンテーション時に使用する言語は、英語または日本語とします。（使用する言語は第1次選抜試験合格発表時に通知します。）</p>																
出 願 期 間	令和元年9月17日（火）～9月20日（金）																
選 抜 期 日	令和元年10月上旬～中旬 第1次選抜 令和元年11月30日（土） 第2次選抜																
合 格 発 表 日	令和2年1月24日（金）																

## 7. 私費外国人留学生入試（10月入学：国際コース）〈工学部〉

学部	学科	募集人員
工学部	電気情報工学科	若干名
	物質科学工学科	
	地球環境工学科	
	機械航空工学科	

出願要件、出願書類等については、以下のWebサイト及び学生募集要項で確認してください。

<https://www.kyushu-u.ac.jp/en/admission/faculty/foreign/foreign10>

## 8. 国際コース入試（10月入学）〈農学部〉

対象者は、①大学入試センター試験受験者、②海外の高校もしくは日本国内の国際コース卒業（見込み）の者です。

募集人員、出願要件等については、以下のWebサイト及び学生募集要項で確認してください。

<https://www.kyushu-u.ac.jp/en/admission/faculty/foreign/foreign10>